

# りゅうかい

2017  
No. 280



新春号

謹賀新年

- ◆ 年頭のご挨拶  
琉球海運(株)代表取締役社長 宮城 茂
- ◆ 2017年 酉年 年男・年女
- ◆ グループ各社 年頭のご挨拶
- ◆ 琉球海運グループ 2016年の主なできごと
- ◆ 事故対応訓練及び事故発生時模擬記者会見
- ◆ 1950俱楽部 清掃活動
- ◆ 第34次船起工式
- ◆ 年末年始安全総点検・訪船活動

- ◆ 第3回沖縄大交易会
- ◆ 琉球海運グループ経理実務担当者講習会
- ◆ RKKグループ便り／琉海スポーツ
- ◆ 支店旅行記(東京支店・大阪支店)
- ◆ 大型船組合若手研修会in北海道
- ◆ 人事／船舶部OB会
- ◆ MORE ABOUT RKK
- ◆ かわいい天使誕生／ご結婚／三ヶ月会

琉球海運グループ



夢とくらしと文化をはこぶ  
**琉球海運株式会社**

沖縄港運株  
株)沖縄輸送サービス

宮古港運株  
株)九州輸送サービス

八重山港運株  
株)きょうはい

沖縄荷役サービス株  
株)国際輸送株

沖縄急送  
琉海リース株

## 俺のま～さん飯 めし



一度沖に出てしまえば、携帯の電波もテレビの電波もない船では、食事が大きな楽しみの1つです。なかなか垣間見る事の出来ない船での生活を知るために、司厨長が腕をふるって作る食事を取材したい!あわよくば食べたい!ということで始めたコーナーです。

第5回は、平良司厨長のま～さん飯を教えて頂きました。今回のメニューは「だし巻き玉子」。だし巻き玉子といえばお弁当にもかかせない和食の定番メニューです!



平良司厨長



こだわり出汁のだし巻き玉子

Q 今回の料理へのこだわりはなんですか?

A 出汁にはこだわっていて、ほとんど昆布からとっています。だし巻き玉子にかかわらず、沖縄そばのだしも昆布を使って出汁をとります。ついでに、昆布に加えて花がつあを入れると、味がまろやかになり全然違ってくる。また、健康のため化学調味料は使わないようにしている。

Q 仕事をしていて楽しいと感じる瞬間はありますか?

A 買い出しをしているときが一番楽しい!何件もスーパーをまわり、色々な食材を見たり、安くていいものを探すのが楽しくて生きがいを感じる。

Q 他にも司厨長の得意料理はありますか?

A 今回の自慢の料理はだし巻き玉子だが、実は洋食が得意。洋食に使う、フォン・ド・ボーノなどをを使った料理などが好き。洋食の中でもオムライスには自信があります。

### ～取材を終えての感想～

しっかり出汁の深みが感じられる、ほんのり甘い優しい味のだし巻き玉子でした!そして、朝の取材にはぴったり。私もだし巻き玉子を自宅でつくるのですが、昆布だしを使っただし巻き玉子はすごく美味しいかったです!また、司厨長の「買い出しをしているときが一番楽しい」という言葉にはかなり共感しました!今回は船のスケジュール上時間が少なかったため、こだわりの出汁を使ったすぐできるだし巻き玉子でしたが、次回は是非、得意料理のオムライスなど、洋食を食べてみたいですね。

今回取材に応じていただきました司厨長の平良さん、ありがとうございました。次回もお楽しみに!(このコーナーは船員の皆様のご協力で成り立っています。取り上げて欲しい一品がありましたら、ぜひ情報をお寄せください。)

\*『ま～さん』とは、沖縄の方言で『おいしい』を意味します。



# 年頭のご挨拶

琉球海運株式会社  
代表取締役社長 宮 城 茂



新年明けましておめでとうございます。

皆様には、つつがなく新しい年をお迎えになられたものとお慶び申し上げます。

昨年は、イギリスがEUを離脱し、アメリカ大統領選挙ではトランプ候補が当選する等、様々な場面で大方の予想を覆す結果となりました。我が国では、熊本県で大地震が発生し、当社博多航路にも影響が出ました。世界の海運では、韓国最大手の会社が経営破綻し、邦船大手三社のコンテナ事業の統合が発表される等、激震が走りました。このように世界は今、政治、経済、社会共に不透明で、先の読みにくい時代にあるものと感じております。

そのような中、沖縄航路は堅調な県経済に支えられ、比較的順調に推移してきました。グループ十五社の経営も、概ね安定した業績を残しております。そして何よりも、船舶が

安全に運航され、無事故で過ごすことが出来たことに感謝しております。今年は、「グループにとって「新たな飛躍への挑戦」が始まる年となります。海上では、待望の新造船が、この夏八月と秋十一月に二隻相次いで誕生いたします。陸上では、中城湾港での総合物流センターの着工を初め、大型プロジェクトが次々と始まります。

新造船二隻については、沖縄航路での長い経験と、技術の粹を集めた設計、建造となります。これまでと比べ最大のスケールを誇り、新たな利用客の掘り起こしと、より質の高いサービスの提供が可能となりました。最新鋭の二隻が加わることにより、当社の船隊は更に充実し強化されます。

立ち後れていた陸上施設については、ここ数年重点的に整備を進めてきました。この春から始まる中城

湾港への総合物流センター建設は、我が社が初めて沖縄本島中部に拠点を構築するプロジェクトです。母

港の那覇港から離れた地域への進出は、距離のハンディー等もありますが、必ずや克服できるものと信じております。また、那覇港管理組合が建設する「那覇港総合物流センター」の管理運営者にも応募の準備をしており、当社台湾航路と直結した県産品の輸出拡大に繋がるものと期待しております。その他、沖縄県の内外で物流センターや各種施設の整備を予定しております。

ここ数年、我が社は台湾航路の開設や、船隊の六隻体制への移行など、本業で果敢に挑戦し、確かな成果を挙げてきました。これからは、その経験を陸上部門の関連事業にも生かして行かなければなりません。今年から始まる陸上施設の建設、事業運営に当たっては、グループで対応することになります。そのためには、

当社は元より、グループの全役職員が知恵を出し合わなければなりません。

時代は不透明で、経営環境も変わります。我々の新しい挑戦は、グループがどのような困難に遭遇しても乗り切つて行ける、そのような経営基盤をつくるためのものです。そして地域に根を張った、総合物流のリーディングカンパニーとして、地域経済や社会の発展に大きく貢献するためのものもあります。グループ各社が共に向上するよう、一段と馬力を上げて進む、そういう一年にしたいと思います。

結びに、皆様、健康にはくれぐれも留意され、元気に活躍されることを期待します。そして、今年も無事故、無災害で明るく、楽しく、仕事をしていきましょう。

皆様と、皆様のご家族のご健勝とご活躍を祈念し、私の新年の挨拶とさせて頂きます。

## 沖縄港運株

代表取締役社長  
島袋 完徹

新年おめでとう御座います。

昨年を振り返りますと、熊本地震の他、日本列島を揺るがすかの様な地震が多発し、自然の脅威を目の当たりにしたものでした。八月には日本中を興奮させたりオリンピックがありました。日本がこれまでのオリンピックで獲得した最多のメダル数で、次の東京オリンピックへ向け大きな期待を抱かせるものでした。何事も目標を持ってば困難を乗り切れるものだと改めて気付かされる大会でした。

弊社は、昨年一月一日に創立六十五周年を迎えることができました。社の継続と発展は、役職員一同の業務に対する前向きな姿勢が築くものだと思うのですが、それに琉球海運グループの皆様や周りのご理解ご協力が有つてこそです。各社の継続と発展の為に、お互い

## 八重山港運株

代表取締役社長  
渡久地 明

あけましておめでとうございます。皆様には、希望に満ちた輝かしき年を迎えたこととお慶び申し上げます。

旧年中、グループ各社様には多くなるご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は熊本震災、福島沖地震等の大規模災害が発生し、また政治・経済状況も一々列挙するのも憂鬱になるくらい混沌かつ不透明な事象が頻発し、時代の潮流が変わりつつあることを強く意識させられた年でした。

国の諸政策はなかなか結果をみるに至っておりませんが、巨大な市場ポテンシャルがあるとされるサーキュラー・エコノミー（最近急速に拡大している循環型経済）のビジネスモデルへの転換に活路があるや

が今置かれている社での業務や職位、社内外の様々な環境を見直し、課題を見つけ目標に向け取り組んでいく事が、各社の継続発展、更にはグループの飛躍に繋がるものだと思います。私は昨年六月の株主総会で社長に就任し、未だ半年が過ぎたばかりではありますが、新年に当たり社の継続発展という目標を持ち頑張って行きたいと思います。

結びにグループ各社の益々の繁栄発展と、皆様のご健勝とご多幸を祈念して、私の挨拶と致します。

## 宮古港運株

代表取締役社長  
砂川 恵映

あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、弊社も創立六十周年を

もしません。

県経済は、観光産業が牽引役となり好況が継続しておりますが、なお当面、国の支援に依存せざるを得ない状況のようです。

さて、琉球海運は昨年九月にグループ経営戦略室を組織されました。より高いステージへの挑戦には確固としたグループ戦略が不可欠であるとのコメントでございました。各種プロジェクトが順次発足する機には、グループ各社一致協力して取り組んでまいりましょう。

当地石垣の景気は、観光客数の増大等により堅調に推移しております。貨物船増便に伴い貨物量も増え、社業は日々対応に追われております。今年も安全作業・安全運行を第一に役職員一同業務に邁進していく所存でございます。グループ各社様には、今年も倍旧のご支援を賜ります様お願い申し上げます。

結びに各社様のご繁栄と役職員・ご家族皆様のご健勝を祈念し、挨拶いたします。

さて、本年度はグループ戦略室を中心、中城総合物流センター（仮称）の建設や、RORO船（一、九〇〇t）二隻の建造に向けて、グループ各社とも協力体制を強化するとともに、弊社も全力で集荷・創貨体制を強化してまいります。

## 沖縄荷役サービス株

代表取締役社長  
新垣 益幸

新年明けましておめでとうございます。

旧年中は、グループ各社には格別なるお引き立て、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年も世界中で自然災害が猛威を振るつた年であります。とりわけ、地震活動も活発化し、ニュージーランド、エクアドル、イタリア中部、台湾高雄でM六・四～M七・八クラスの大きな地震が発生しました。国内でも、北海道、熊本、鳥取、福島沖で頻発し、各地で大きな被害を出し、未だ完全復旧には程遠い状況です。また、南国奄美大島や沖縄でも降雪を観測し、雪を記録したことも記憶に新しいところです。自然の猛威には人は為す術もありませんでした。

政治の世界を見るとアメリカのトウキビ・葉タバコ・マンゴーなど第一次産業が好調に推移し、建築公共関連事業も順調に伸びております。また、観光事業も大きく成長し、大型クルーズ船入港、入港事業等、宮古島は急発展をとげています。こうした背景の中、今年度平良港では第二ふ頭と第三ふ頭を埋め立てて、大型船も入港可能な耐震性に優れた複合一貫輸送ターミナルの供用が開始されます。予定となつており、港湾の仕事も新規の白化など異常気象の影響が起つた印象があり、今後地球はどうなつていくか考えさせられる一年となりました。

経済面では、TPP関連や次期アメリカ大統領が選任されるなど、経済動向に大きな影響のある年にあり、沖縄の産業、基地問題は今後どう展開されていくか、新たな転換期を迎えております。ここ数年、世の中は明るい話題に乏しく、不安に思つておられる方も多いのではないかでしょうか。今年は、少しでも明るい話が生まれてくれる事を願つております。

ところで、昨年の宮古圏域を取り巻く経済情勢を顧みますと、サ

四十五代大統領に、ドナルド・トランプ氏が選出され、今後の動向が注目されています。フィリピンでは過激発言で注目を浴びたドゥテルテ大統領が就任、台湾では独立志向の最大野党・民進党の蔡英文氏が、台湾史上初となる女性総統に就任しました。国内においては、夏の参院選で自民・公明両党が過半数の六十一を上回る七十議席を獲得、全議席の三分の二を超えて改憲発議が可能になりました。また、今回の参院選では、選挙年齢が十八歳以上に引き下げられ、約二四〇万人が新たに有権者になりました。



県内においては、一月の宜野湾市長選で政府与党が支援した、現職の佐喜眞淳氏が再選を果たし、沖縄の民意は必ずしも辺野古移設反対ではないことを示した年でもありました。

さて、本年度はグループ戦略室を中心、中城総合物流センター（仮称）の建設や、RORO船（一、九〇〇t）二隻の建造に向けて、グループ各社とも協力体制を強化するとともに、弊社も全力で集荷・創貨体制を強化してまいります。

# 年頭のご挨拶

を尽くす)を今年のキーワードに掲げ、全社員一丸となつて取組む所存であります。

本年もグループ各社の益々の繁栄・無事故・無災害を祈念致しまして、新年の挨拶といたします。

ご安全に!

## 株 沖縄急送



代表取締役社長  
富里 正治

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族共々晴れやかに希望に満ちた元旦を迎えたこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、中国の海洋進出、北朝鮮ミサイル発射実験、比国や米国の新大統領当選、英國のEU離脱、韓国大統領不祥事糾弾等が世間を騒がせました。県内では、記録的な高温によるサンゴの白化現象、普天間飛行場の

ご健勝を祈念し、新年のご挨拶と致します。

## 株九州輸送サービス



代表取締役社長  
宮城 茂

新年明けましておめでとうございました。

グループの皆様には希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申しあげます。

昨年はリオオリンピックの金メダルラッシュに沸きましたが、九州においては四月に「熊本地震」が発生し、物流にも甚大なる被害を与えた年でした。

さて、平成二十九年の九州地区を取り巻く環境は、八月以降予定の「かりゆし」「わかなつ」の就航により、船腹量が格段に増加し、定着した博多航路のデイリーサービスがいよいよ盤石な体制となりました。また、琉球海運が昨年三月

に“アイランドシティー港湾関連用地”に取得した土地の平成三二年度の引渡しに備え、貨物の増量への取組と物流施設構築に向けた具体的な取組を本格的に進めて行くスタートの年となります。

弊社と致しましては、グループの戦略的重要拠点である九州地区の更なる強化に寄与すべく、福岡、鹿児島そして琉球海運(㈱)鳥栖物流センターと九州全域を視野に入れた営業展開の為の体制作りを急ぎます。そのため、経営理念を策定し、今年から向こう三年間の中期経営計画を策定する予定です。

このようないくつかの取組により、九州地区に於ける弊社の役割を明確にし、グループの更なる発展に寄与しうる会社に成長すべく、九輸運送㈱と共に邁進してまいります。

西の由来に「果実が極限まで熟した状態」というものがあり、そこから物事が頂点まで極まった状態が西年だと言われます。グループ各社のこれまでの取組が熟し、実り多い収穫の年となりますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

## 株さよりばら



代表取締役社長  
下地 強

あけましておめでとうございました。

琉球海運㈱ならびにグループ各社におかれましては、希望に満ちた新年を迎えた事とお慶び申しあげます。

西の由来に「果実が極限まで熟した状態」というものがあり、そこから物事が頂点まで極まった状態が西年だと言われます。グループ各社のこれまでの取組が熟し、実り多い収穫の年となりますようお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたしました。

は中古車輸送を始め二十二年目にあたり、好調に推移しています。

また、二〇一三年から新車の配達業務も始め、メーカーの配送マニアルに従い事故がないよう配達しています。前年度は、無事故無違反コンテストで優秀賞を頂き、今年も継続しお客様のサービスに邁進していく決意です。

今年の干支は『酉』です。鳥のように理解力に優れ元気に飛び回って、利益を追うよりもは汗を流して努めれば成功に繋がると考え、この酉年に肖つて役職員一丸となつて頑張っていく所存です。

結びに琉球海運及び各社のご繁荣、無事故・無災害を祈念し新年の挨拶といたします。

昨年は、熊本に大地震が発生し多くの尊い命が失われました。一方リオオリンピックでは、日本は体操・レスリング他等で大活躍し、また、パラリンピックでも過去最高のメダル数を獲得しました。日本ノーベル賞受賞も三年連続の快挙で、自らの蛋白質を分解して再利用するというオートファジー理論は、組織の自己再建努力を示唆するような教訓に満ちたものにも思えます。

さて、県経済は観光・建設関係もスムーズに推移したことから、拡大の動きが強まっています。当社

辺野古移設反対の抗議運動、ヘリパッド建設の工事阻止運動と大阪府警機動隊員による土人発言が差別問題に発展する等、まさにヒートアイランドでした。

一方、琉球海運では宮城新社長が誕生し、那覇商工会議所の物流分野担当の副会頭に山城会長が就任され、また、当社も創立満四年を迎えて役職員一同節目の年を祝いました。

今年の琉球海運グループは大型新造船建造、中城湾港区、那覇港地区、糸満地区での物流拠点施設建設等、どれをとっても大きな事業が目白押しです。今年は、琉球海運の海上輸送を核とした県内物流事業の隆盛を、グループ各社が県民にアピールし知らしめる重要な年であります。また、将来を担うグループ各社の若者共々「明るい未来」を創造するため、着実に進む大事な年になります。

結びに、新年を迎えるに際し、琉球海運グループ各社が「気運」も「お客様」も取り組んで、商売繁盛へと導く飛躍の年になりますよう、また、グループ各社の従業員皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

新年あけましておめでとうございます。

皆様には輝かしい年を迎えた事とお慶び申しあげます。

旧年中は、琉球海運グループ各社の皆様には大変なご厚情を賜り厚くお礼申し上げます。

私事では、昨年は大変慌ただしい年でした。六月に沖縄港運専務を退任し、弊社社長に就任いたしました。初めての県外勤務となり生活・文化の違いに戸惑いがありました。初めの東京勤務となりましたが、幸い社内に本土での生活が長く経験豊富な社員が多数おり、彼らより公私共に指南頂き(特に夜の町)半年間ですっかり東京人になりました。

さて、ここ東京では昨夏の東京都知事選挙で小池百合子知事が誕生しました。ニュースでご存知かと

この状況下、弊社はご存知の通り狭隘施設の中で、様々な物流サービスに対応し輸送品質を向上させ、顧客からの信頼により貨物増に繋がる様積極的な営業展開に取り組んでおりますが、更なる貨物獲得の為にはCFS確保が大きな課題であります。

今年の干支は丁酉(ひのとり)で、安定して実るという意があり、琉球海運が新造船二隻の就航、陸上では中城で大型物流施設用地取得等、グループにとって大飛躍する年になる事と想います。

本年もグループ各社の益々のご協力ご支援をお願い申し上げますと共に、琉球海運船舶の安全運航とグループ各社のご繁栄、皆様の懸念されます。

## 株 沖縄輸送サービス



代表取締役社長  
翁 長 孝蔵





## 第34次船「しゅれいⅡ」起工式

11月7日、第34次船の起工式が大分県の佐伯重工業株式会社にて行われました。当社からは、社長をはじめ4人の役職員が出席し、建造工事の無事を祈願しました。

写真中の手前側で建造工事が行われていますが、船と分かる形になるまではもう少し時間がかかりそうです。第34次船は、現在運航中の"しゅれい"の代替船で、先日の船名公募にて「しゅれいⅡ」と命名されています。同船は、今後建造工事を経て平成29



起工式の様子

年8月に竣工する予定です。竣工後は、当社の京阪神航路へ投入されます。

### 第34次船命名 「しゅれいⅡ」

沖縄に根ざした企業を目指す上で、定着し親しまれている「しゅれい」という言葉を引き継ぎ、シリーズ船としてその名を後世に残したい。



## 平成28年度 年末年始安全総点検・訪船活動

昨年度も大量の輸送需要が発生する年末年始に、安全作業・安全運航の意識を高めるために、船舶の安全総点検と訪船活動が行われました。訪船活動は12月中旬から後半にかけて、当社役員と船舶部によって6隻全船で実施されました。社長をはじめとする役員からは、日頃の運航業務に対する労いの言葉、乗組員の健康管理、また安全運



役員による挨拶と意見交換の様子

航の重要性についてのお話がありました。

その後の懇談会では、船機長をはじめとする海上職員との間で、安全運航のための人材育成、環境規制に対する取り組み、H29年就航予定の新造船に関する意見交換も行われました。この年末年始を機に、改めて日常的な安全運航への意識を高めていきます。



wakanatsu乗組員

## 1950俱楽部 清掃活動

十一月十三日、1950俱楽部のボランティア活動として、県内各地で清掃活動が行われました。1950俱楽部は、琉球海運を含め沖縄県で一九五〇年に創業した十三社が集い、沖縄県経済・社会や県民の生活向上のために活動している団体です。今回は、会員各社が清掃活動を行うこととなり、琉球海運は本社社屋前の大通りを清掃しました。

清掃を行った範囲は、国道58号線との交差点から本社社屋前までの歩道と中央分離帯です。歩道には空き缶などのポイ捨てされたゴミがあり、中央分離帯は長期間手入れ

されていました。汗ばむ陽気の中、参加された皆さんお疲れ様でした。今後とも、琉球海運は1950俱楽部の一員として活動を続けていきます。



刈り取る前の中央分離帯の雑草



刈り取り後



1トン土のう袋11個分の雑草



あつかれさまでした